

# 授業科目 治療学演習 II

【担当教員名】 小林 量作、星 孝、非常勤講師		対象学年 3	対象学科 理学
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 1	時間数 30 (内 20)
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 脳卒中片麻痺患者の障害像を実技を通して理解し、評価および治療技術の基礎を積極的に修得する。			
【学習目標・行動目標：SBO】			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臥位姿勢の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>2. 寝返り動作の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>3. 起き上がり動作、座位姿勢の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>4. 立ち上がり動作の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>5. 立位姿勢の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>6. 異常歩行パターンの評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>7. 応用動作（ADL）・上肢機能の評価と分析を行い、治療と関係づける</li> <li>8. 事例を通して問題の抽出および治療プログラムを立案する</li> <li>9. 中枢神経疾患に必要な評価項目を選択し、治療と関係づけながら理学療法を実施する</li> </ol>			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臥位姿勢、寝返り動作の評価と分析、治療実習	1, 2, 9	講義、実技演習
2	起き上がり動作、座位姿勢の評価と分析、治療実習	3, 4, 9	講義、実技演習
3	立ち上がり動作、立位姿勢の評価と分析、治療実習	4, 5	講義、実技演習
4	歩行パターンの評価（観察）と分析、治療実習	5, 6, 9	講義、実技演習
5	歩行応用動作の評価とステップ訓練、バランス訓練	6, 9	講義、実技演習
6	ADL 応用動作・上肢機能の分析	7, 9	講義、実技演習
7	ADL 応用動作・上肢機能の分析と治療実習	7, 9	講義、実技演習
8	症例検討および治療演習（1）	7, 9	講義、実技演習
9	症例検討および治療演習（2）	8, 9	講義、実技演習
10	症例検討および治療演習（3）	8, 9	講義、実技演習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)	配布プリント		<発行年・価格 他>
参考書			
その他の資料	脳卒中最前線 第4版 病気がみえる Vol.7 脳・神	藤田勉 他 医療情報科学研究所	医歯薬出版 株式会社 メディックメディア 2009・9,240円 2011・3,800円+税 経
【評価方法】 単位修得規程の出席条件に満たないものは、本科目試験の受験は不可とする。 実技試験の結果を評価する。	【履修上の留意点】 2グループ（1グループ50名）体制で授業を構成する ジャージ上下（時期により短パン、Tシャツ可）などの動きやすい服装で参加する		